

高校生ワークショップ

概要報告資料



趣旨・目的

「松山市地域振興構想」の策定や地域づくりの振興に向けて、『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想や各地域の魅力・取組について知ってもらうため、また、「地域に人の流れをつくるため、地域のまちづくりに興味を持ってもらうためにどんなことをすれば良いか？」などのアイデアを若者(高校生)の視点で考えてもらうために、ワークショップを実施しました。

ワークショップの概要

【日時・場所】

令和6年3月17日 10:00~15:00
松山市役所 本館11階 大会議室

【参加者】

市内高校生(公募): 37名
参加校: 松山東高等学校/松山商業高等学校/済美高等学校/松山北高等学校/聖カタリナ学園高等学校

【テーマ】

午前: 『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想について知ろう!
午後: 地域に人の流れをつくる、まちづくりに興味を持ってもらえるような良いアイデアを考えよう!

【プログラム】

【午前】

- 1 ごあいさつ
- 2 『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想って何?
- 3 坂の上の雲ミュージアムの見学

【午後】

- 4 アイデアを考えるワークショップ
- 5 発表・良いアイデアの投票
- 6 閉会

プログラムの主な流れ

『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想って何?

『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想について、その取組や考え方について市から解説をした上で、各地域の印象や取組について知っていたかなど、地域のイメージについて学生同士で共有・意見交換してもらいました。



坂の上の雲ミュージアムの見学

坂の上の雲ミュージアムを見学してもらい、ミュージアムにおける役割や、実施している取組などを学生に知ってもらいました。



アイデアを考えるワークショップ

ゾーン別のグループで地域に人の流れをつくる、まちづくりに興味を持ってもらえるアイデアを考えてもらいました。
※久谷・砥部/三津浜・梅津寺/風早/忽那諸島/坂の上の雲ミュージアムの5ゾーン別に分かれて検討



発表・良いアイデアの投票

考えたアイデアについて発表してもらいました。
また、発表を受けて、良かったと思うアイデアに、学生のみinnで投票をしました。



③海まちオシャレプロジェクト

① 解決したい課題

- 少子高齢化を解決したい
- 人口減少
- 移住者増加による人口増加が20%と多数派(意識が高い)
- 交通環境が不便だと感じるところを改善
- 若い世代が中心地から遠くに来ない(イベントがない)** (pick up)
- 近郊エリアに商業施設を(?) (幼稚園)

② 取組アイデア

- 古民家と題材にしたお店のこころを知ってもらう
- 商店街を活性化
- イベントを釣り大会
- SNSで拡散
- 貝殻を使って作品作り → 作品展示
- 釣った魚を隣で調理できる施設を作る
- 魚のまほう教室を開く
- 割引キャンペーンを行う (SNSでフォロー)
- 絵画コンクールを開催して景品や賞状を贈る
- 一番大きな魚を釣った人に商品券をプレゼント (三津浜で使う)

③ 自分たちが関わられそうなこと

- 作品作りの時に子どものサポートをする
- 三津浜・梅津寺に行くと実態を知る
- SNSを積極的に利用する
- チラシ作り SNSで発信
- ボランティアを募る

3 班 三津浜・梅津寺

海まち オシャレ

プロジェクト

④『MITU』プロジェクト

① 解決したい課題

- まちを賑わせる
- 情報発信の機会を増やす
- 三津浜・梅津寺の2017に住んでいる人たちに3.5%の心と情を持ってもらう
- 商業施設の建設
- 観光業を活性化させる
- 地域の特徴を活かしたイベントを増やす
- 子育ての環境を整えるための整備を行う
- 港町ならではのメリットをたごころの人に知ってもらう

② 取組アイデア

- テナント運営を支援
 - 個人経営で個人経営のたい人への支援
 - 中小企業の商業施設の運営の場合建設費と敷金負担を減らす
- 観光
 - SNSを活用して宣伝する
 - 空の家のゲストハウスをリノベーションする
 - リピーターを呼ぶ (例) 参加型体験型
- 宣伝
 - 著名人と提携して宣伝PRをしてもらう
 - 市内外のイベントでその地域の特徴を宣伝する
- 育児
 - 子育て支援する
 - 幼稚園にも子育てを呼びかける場所を設置する
- 地域活動
 - 身近で楽しくできるアクティビティを行うと地元に住んでいる人にも地域にも関心を持ってもらう

③ 自分たちが関わられそうなこと

- SNSで写真や情報(良い)を伝える
- 家族や友達との会話のなかで三津浜・梅津寺の話題を話題にする
- イベントのボランティア参加

プロジェクト名

4班 三津浜・梅津寺

『MITU』プロジェクト

1

⑤時を歩むプロジェクト

① 解決したい課題

- ミュージアムの場所がわかりにくい
- 大街道と銀天街がシャッター街になりそう (特に銀天街)
- 距離は近いけど、行きにくい
- 学校行事でしか行かない
- イベントが少なすぎる
- そもそも「知らない」人が多すぎる

→ 「近いけど、遠い。」を超える!!

② 取組アイデア

- 目的を持って訪れたい
- インフルエンサーの力を借りる
- 高い頻度でイベントを開催する
- 「せっかくなら全部まわろう」と思わせる
- 「〇〇とどろ」、観光パーク
- 案内表示の作成、掲示
- イベント開催地を限られた場所から広げる

③ ARを使ったナビアプリ

④ 「松山らしさ」を見つける

⑤ ゆかりの人物を大切にする

→ インフルエンサーを使って推し出す

③ 自分たちが関われそうなこと

高校生は、21

インフルエンサーの

▲ プロジェクト名 **時を歩む**

5班 **プロジェクト**

坂の上の雲ミュージアム

さかくも
⑥坂雲再開発

① 解決したい課題 6班
坂の上の雲ミュージアム

- 坂の上の雲ミュージアム
- 存在感がない
- 内容が知られていない
- 車いすの人や高齢者が利用しづらい
- イベントの充実化

② 取組アイデア

- マスコットキャラクター
- 松山市の小中学生が考えて投票で決定
- グッズ(お土産)
- ふれあいイベント
- テレビ、ラジオのCM (親しみ深い、楽しそうな)
- 御朱印風スタンプラリー
- 駅、空港、施設で販売
- 様々な場所で御朱印
- 初級から上級まで
- 全て集めたら非売品の限定グッズをプレゼント

割引クーポンつき

③ 自分たちが関われそうなこと

- 愛媛の偉人について知る
- 市と協力する
- スタンプのデザイン
- マスコットの提案
- グッズ考案
- イベントのお手伝い
- 商神祭で試験販売 → 実際に...
- 松山東高校グローバル事業で実行!

④ プロジェクト名

さかくも
坂雲再開発

6班
坂の上の雲ミュージアム

⑦風早ウルトラレベルUPプロジェクト

① 解決したい課題

- 交通環境の整備
- 海と砂浜が汚い
- 地域づくりの参加者不足
- 観光地が少ない

② 取組アイデア

交通経路を
狭く(道路
の幅を広くする
ほど)

道路の整
備(ひび割
れ、土砂災害
防止する機
械の整備)

車の数が増える
(地元の車
の7割は観光車
が多い)

清掃

看板を
立てる

地域と観光客の
交流の場を
つくる

ゴミ箱
の設置

ポスターを
作り、学校に
配付する

SNS
などでの
発信

自分自身は
呼びかけ、
イベント参加
などをする

企業や会社に
手あつりに
参加する

家族参加の
くじ引きなど
を引けるよう
にする

この地域を自
ら楽しむ場
を創出する

観光客の
滞在時間
を伸ばす

③ 自分たちが関われそうなこと

看板の設置
や案内板の
設置など
を提案する

ボランティア
活動の
参加

看板を
作る
(3インチを
出す)

イベントを
企画し、SNS
などで
発信する

ポスターを
作り、地
域の人や
観光客に
呼びかける

今日の
学生は
観光地を
楽しむ
場所を
つくる

他の学校と
連携し、
観光客の
滞在時間
を伸ばす

④ プロジェクト名

7班 風早地域
風早ウルトラレベルUPプロジェクト

⑧みんなに北条の魅力を知らせてもらおうプロジェクト

① 解決したい課題

みんなに
知らせて
もらう

空しく
感じる
場所を
つくる

少子高齢化
が進んで
いる

観光客が
来ない
場所を
つくる

運動場
ができる
ところ
(アスレチック)

買い物
できる
場所を
つくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

みんなに
知らせ
てもらう

空しく
感じる
場所を
つくる

少子高齢化
が進んで
いる

観光客が
来ない
場所を
つくる

運動場
ができる
ところ
(アスレチック)

買い物
できる
場所を
つくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

② 取組アイデア

運動場
ができる
ところ
(アスレチック)

買い物
できる
場所を
つくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

コストを
つくる

小売店
をつくる

下を
公園に
つくる
(アスレチック)

自然と
つなが
る場所
をつくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

自然と
つなが
る場所
をつくる

③ 自分たちが関われそうなこと

SNSで
発信する
チラシ作り

イベント
参加する

イベント
参加する

イベント
参加する

④ プロジェクト名

8班 風早
みんなに北条の魅力を
知らせてもらおうプロジェクト

⑨ 住みやすいまちプロジェクト

① 解決したい課題

- 医療やサービスの充実が期待できない
- 人通りの少なさ
- インターネット環境が整っていない
- 少子高齢化の影響で若い人の割合が少なくなっている
- 地域の魅力が広まらない (農林水産物・建物)

② 取組アイデア

〈災害〉

- 避難経路を確保する (地震などの際に備える)
- 避難所生活の課題を解消する (地震対策)
- 移住体験で出ている場所が災害時に避難場所として使えようとする。
- インターネット環境の整備
- 学校などの場所に備える (海からの物資運搬が困難な場所を備える)
- 高齢者の方々の移動が楽になるようにする (車いすや移動支援車など)
- 山小屋をつくる (津波避難時)

〈観光〉

- インターネットを使い、色々な人に自分たちのまちの魅力を伝えてもらう
- 地域での交流を増やし、住みやすいまちにする。
- 地域の活性化のために自分たちで作る

③ 自分たちが関われそうなこと

- 意見箱の存在を呼びかける
- ボランティアに依頼する
- 今の松山市の現状を知る
- 意見箱にまだ来たことが多くない
- その地域のPR動画を作る
- 積極的に地域のイベントに参加する
- インターネットを使って色々な人に発信してもらってもらう
- 学んだことをすぐに家族や友達など身近な人に共有する
- 地域どうしの交流を深める

④ 9班 忽那諸島 「住みやすいまちプロジェクト」

⑩ 「今日から君も忽那諸島民だ！」プロジェクト

① 解決したい課題

- 少子高齢化
- 海のゴミ
- 空き家
- 過疎化
- 交通が不便
- 情報不足
- 冬の観光
- 学校が不足
- 病院がない
- コンビニがない
- 畑・菜園放棄
- PR不足
- フェリー代値上がり事件
- 魚を大切にしたい

② 取組アイデア

- 海のゴミを観光客に特産品を交換
- 島民全体でSNSでPR
- 途中から泳いで、バイクで、フェリー
- 船員のエンターテイン性を高める (エンターテインメント)
- アニメ等に登場する場所の写真を発信
- 空き家もコンビニ・宿泊施設
- 自然を観光資源にする
- つばを渡り、島側から泳いで、泳ぐ
- TVの取材を呼び
- 非日常を味わってもらう観光
- ゴミアートの作成
- 一日島民体験
- 畑の貸し出し
- ドライブで夕焼けの海を楽しむ
- シーグラスを、お皿をつくる、魚をのせる
- 行きずらくても、時刻表はない工夫して、行きやすくする

③ 自分たちが関われそうなこと

- まち全体で、PRの投稿にいいねする
- 学校の遠足を増やし、島に来てもらう
- 泳ぎの練習を、島で泳ぐ
- TVの視聴率を上げる、もう一度取材してもらう!
- 一次産業をして、島に移住する
- 特産品づくりに協力
- 特産品をかう

10班 忽那諸島 「今日から君も忽那諸島民だ！」プロジェクト